

# GOLF、 今この人に 聞きたい!

ゴルフの楽しみ方は十人十色。  
各界を代表する著名人たちが  
独自のゴルフ観を告白する!

特別連載 第66回

ステツゴルフ株式会社 代表取締役 会長 CEO

## 榎本考修

さん

「ゴルフが始めやすくて続けやすい  
スクールをやりたいかったんです」



聞き手

山崎将志

(やまざきまさし)

1971年生まれ、愛知県岡崎市出身。ビジネスコンサルタント。94年に東京大学経済学部経営学科を卒業。同年アクセンチュア入社。2003年に独立後、アジルパートナーズ、カジタクなど数社のベンチャー企業を開発。10年4月に出版された「残念な人の思考法」(日本経済新聞出版社)が34万部のベストセラーとなり、著書累計発行部数は100万部を超える。最新のハンディキャップは7.5



月額4980円(税別)〜で、通い放題のインドアゴルフレッスンスタジオがあるという。現時点で関東圏を中心に21カ所ある店舗はどれも駅から徒歩5分以内と好立地である。この施設を運営するステツゴルフ株式会社の創業者、榎本考修さんは、何と元ツアープロだ。

取材場所はJR駒込駅を降りてすぐのビル。少し早く着いた私は、ビル1Fにあるゴルフスタジオをのぞいてみた。平日の夕方だというのに数打席あるブリスはすべて埋まっており、シニア層が楽しそうに談笑しながらボールを打っていた。

「プロゴルファーとしてツアーを目指していましたが、25歳で断念しました。引退してみるとプロゴルフファーにはその後の道がまったく用意されていない事実(がぜん)に愕然(がぜん)としました」

た。それで、プロゴルファーが引退した後の雇用を微力ながらも提供できないかと考えたのが、このスクールを始めた理由の一つです」

榎本さんは谷口徹プロの出身校でもあるPL学園高校のゴルフ部から大阪学院大学を経てトーナメントプロを目指していた。ゴルフを始めたのはPL学園の中学3年生の夏、ゴルフバッグのネーム刺繍を手がける父親からゴルフを勧められたのがきっかけだ。高校入学を機にゴルフ部に入学しようと思い、母親に連れられてゴルフ部の寮に見学に行き入部の方法を尋ねた。ゴルフ部長の先生はきつぱりといった——（ゴルフ経験のほとんどない生徒は）ウチのゴルフ部には無理です。その言葉にカチンときた榎本さんは翌日、ゴルフ部の顧問だった教頭に入部を直訴した。すると教頭は「中学を卒業するまで毎日ゴルフ部の施設を掃除すること。時間が余れば練習してよい。半年間続けて見込みがあれば入部を検討する」という。

た。手応えを感じましたね。高校時代は日本で一番練習していると感じるほどやりました」

高校卒業後は大阪学院大学に入学してゴルフ漬けの毎日を送った後、トーナメントに出始めた。しかし、なかなか結果が出ない。プロの道に進むと決めたときに、ゴルフを勧めた父親と25歳までに結果が出せなかつたら他の道を考えてと約束をしていたが、その時期がやってきた。

「間接的ですが、引導を渡してくれたのは、谷原秀人プロの活躍でした」

榎本さんが谷原プロのプレーぶりを初めて目にしたのは、PL学園高校と東北福祉大学の合同合宿のときだった。当時、高校3年生だった榎本さんは大学1年生の谷原さんの心臓の強さに雲泥の差を感じたという。球筋やコースマネジメントは見た目上はほとんど差を感じない。練習ラウンドであれば、自分も勝てるのではと思うこともあった。しかし、試合本番になると谷原プロは65で榎本さんは73だったりする。

## 「父に、25歳までにプロとして結果が出せなかったら他の道に進むと約束しました」

日本一を自負するほど練習し、技術的な差はそれほど大きくない。では、シード選手とそうでない選手の差はどこにあるのか。トッププロと直に戦ってきた榎本さんにしか分からない世界だから、本当に傷口に塩を塗るようで申し訳ないとは思いつつも質問をぶつけてみた。

「一緒に戦っていた仲間や先輩に誤解されたくないんですが、僕は本当のツアープロになれていませんでした。ツアーで実績を出す人は、ひと言でいえばぶっ飛んでいますね」ということは、榎本さんは常識的すぎたということですか？

「そうかもしれません（笑）。重要な場面でのパットをきっちり沈めてきたり、どう考えても不可能な場所から寄せたりだとか。とにかく心臓の強さが違います」

ツアーを引退した榎本さんは、次の目標を達成する最初のステップとして、ツアー選手のサポートをするクラフトマン的な仕事を始めた。その関係で2006年の全英オープンに行っ

たときのこと。3日目にタイガー・ウッズと回った谷原プロは5位タイでホールアウト。榎本さんは最終日の前日の夜、谷原プロが現地で開催している家での仲間内の夕食会に招待された。行ってみると世界ランキング上位の選手と並んでリーダーボードに名を連ねている谷原プロに、世界のメディアからの取材が押しかけていた。榎本さんが驚いたのは、ある記者が「優勝を狙える位置にあるが日本人初の優勝はあり得るか」と質問したときの谷原プロの回答だった。

### 2006年全英オープン5位タイの谷原選手のホールアウトばやばやグローブ



「誰かに取られてしまうと思って、ホールアウトしてすぐの谷原さんに駆け寄っていただいたものです。僕の一番の宝物です」

サインとともに2006年7月22日、全英オープンと直筆で書かれている。意外とサイズは小さくかなり使い込まれている印象。グローブに刻まれた皺から臨場感が伝わってくる。

「あるかもしれませんがね、つて真顔で意気しやーしやーと答えるんですよ。どんだけずぶといんだと。正直、辞めてよかったと思います。こんな人たちと勝負できるかと(笑)」

その後も榎本さんはゴルフ用品を小売店に卸すビジネスを成長させ、12年にステップゴルフ社を設立、東京・拜島に第1号店をオープンさせた。それにしても、なぜ拜島なのか？ 拜島は東京都の西の端、駅前といえど乗降客はそれほど多くなく、失礼ながらインドアレッスンスタジオが繁盛する立地とは思えない。

「最初から全国1000店舗規模のビジネスにしたいと考えていました。そのためには拜島のような場所が成功しなければ、全国展開は無理だと考えたんです」

榎本さんによれば、ゴルフアには頻繁にプレーする層、月一ゴルフア、年に2〜3回ゴルフアアの3種類がいる。多頻度層を対象にしたインドアスクールは安くても1万5000円、高いと3万円の月謝が必要などところもある。10年間ゴルフビジネスに携わる中で、造っては潰れるというスクールを数多く見てきた。また、そうしたゴルフスクールはゴルフに対して厳しすぎ、月一や年2〜3回ゴルフアには費用的に

も内容的にもハードルが高い。「だからこそコスパでナンバークン、ゴルフが始めやすくして続けやすいスクールをやりたいかったんです」

現在は土日祝利用でできる会員の月謝は6980円(税別)だが、第1号店では一律4980円の価格帯で始めた。この価格だと200人の会員を

約がいつもいっぱいとか、コーチの質が悪いなど、「安からう悪からう」なのではないかと疑心暗鬼にもなってくる。「われわれのスクールはストイックにゴルフ道を極めたい人向けではなく、仲間と一緒に楽しくやりたい方々がターゲットです。要するにカブス(体操教室)のゴルフ版です」

集めて、やっつと月の売り上げが100万円だ。その中で利益を出すのは相当な工夫が必要なはずだが、榎本さんは拜島で試行錯誤を繰り返して単店で収益を上げるノウハウを蓄積し、現在では21店舗まで成長させた。

しかし会員の立場から見ると、予



**榎本考修さん**

(えのもと・たかのぶ)

1979年6月15日生まれ、大阪府出身。PL学園高校から大阪学院大学を経て、JGTOのメンバーとしてプロ活動。2006年、ゴルフ総合商社アイエム設立。07年キラキラ輝くメタリックカラーのクロマックスボールを販売開始し、2年で100万球売のヒット商品に。また、LINEの正規代理店としての事業も展開している。12年ステップゴルフ設立。現在全国に21店舗展開。ゴルフはプロを諦めてから約10年間、まったくプレーしてなかった。「現役時代に完全燃焼してしまい、まったくコースに行かかったんですよ(笑)」。2〜3年前にゴルフを再開。「今はお客さんたちと、月一ゴルフアでゴルフを楽しんでいます」という。

約がいつもいっぱいとか、コーチの質が悪いなど、「安からう悪からう」なのではないかと疑心暗鬼にもなってくる。「われわれのスクールはストイックにゴルフ道を極めたい人向けではなく、仲間と一緒に楽しくやりたい方々がターゲットです。要するにカブス(体操教室)のゴルフ版です」

ステッゴルフの客層は、ハードルが高くてできなかった、昔はやってたけどもう一度ちゃんとやってみようという初〜中級者だ。だから上から目線のレッスンは排除し、コーチ兼店長には「楽しいゴルフをエスコートする」ホスピタリティー・ビジネスの資質が求められる。これまでにプロを中心に200人面接してきた、採用したのはたったの20人。店長になるのは簡単ではない。

最近、榎本さんは10年ぶりに谷原プロに会った。試合で活躍する谷原プロに、ゴルフ業界を裏で支えられるような会社を育てて賞金を出せるようになりたい、と話したという。

「何十年もゴルフ人口が増えてないことが本当に嫌だったんです。だから僕たちがやるんです」

ゴルフ業界の人から「何とかしなければ」という声をよく聞く。しかし、ほとんどの場合は正しい現状分析と無縁の行動に終始している。特に新しいゴルフアを増やす取り組みを、きちんと利益を上げながら実行している人は稀である。榎本さんから直接話を伺い、一緒にやりたいと人が集まってくる理由が分かる気がした。